

2019年度

科目名	安全管理
担当教員	定延 渚
実務年数	12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 講義
授業科目概要	医療安全とは患者中心の質の高い、安全な医療を提供するために医療安全の必要性・重要性を課題として認識し、安全な医療が遂行できる体制・環境を整えるために必要な知識・技術の習得を目指す。
授業計画	① 安全管理と感染管理について ② 医療法と歯科衛生士について ③ ヒューマンエラー、インシデントレポートについて ④ 感染防止策の実際について（PPE装着） 歯科における医療事故とその対策
成績評価	単位試験・レポート・授業態度・出席状況等を総合して評価する
教科書	歯科衛生士のための歯科医療安全管理 尾崎哲則 編 医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等の忘れ物をしないこと。レポート等の提出物はきちんと提出すること。

科目名	運動生理
担当教員	山野宏章
実務年数	9年（理学療法士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・ 講義・演習
授業科目概要	運動を行うには様々な器官の働きが必要である。本講義では、筋、代謝、循環、呼吸の生理機能について理解し、運動を行うことによる変化を学習する。演習では、運動により生理機能がどのように変化するかを体験し理解する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 筋の構造と収縮 ② 筋力とトレーニング ③ 代謝とエネルギー ④ 循環の仕組み ⑤ 運動と循環 ⑥ 呼吸の仕組み、運動と呼吸 ⑦ 筋力の測定（演習） ⑧ 運動後の呼吸・循環機能の測定（演習） ⑨ まとめ
成績評価	筆記試験と演習の取り組みにより総合評価する
教科書	なし（プリント配布予定）
参考書等	特になし
履修上の注意	講義に関して、十分な予習と復習をすること。演習は動きやすい服装で参加すること。

2019年度

科目名	英会話
担当教員	ZHOU CIAN
実務年数	
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義
授業科目概要	外国の患者様との意思疎通を図るための英語を学んでほしい。相手の主訴を正しく聞き取れ、発音良く礼儀よく伝えられるコミュニケーション力を目指す。テキストの例文を使い、会話の中で単語習得、文法説明を導入していく。
授業計画	① 英語で自己紹介、アメリカの歯科事情、歯科衛生士に必要な基本単語 ② 電話対応（予約・初診アンケート等） ③ 患者の主訴を聞き取る、レントゲン検査 ④ 刷掃指導 ⑤ 単位試験 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験、受講時の活躍度
教科書	資料を配布
参考書等	歯科衛生士、歯科医師のための実用英会話（医歯薬出版）
履修上の注意	実際、外国の歯科事情を紹介しながら、楽しく進めていく

科目名	化学
担当教員	牧田 住真
実務年数	
単位 (時間数)	1 単位 (30時間)
履修対象・形態	1年次・講義
授業科目概要	近年の歯科の治療技術あるいは材料の進歩は化学の発達に伴っている。化学は物質の成り立ちと構造、性質および変化について原子や分子に着目して調べるとともに、物質を暮らしに安全かつ有意義に役立てることを目指す学問である。本講では人間が元素、原子、分子などの存在を知り、理論・法則を確立していくには、どのような観察・実験が行われたのか、その経緯を学ぶ。さらに、歯科医療人として必要な糖質・脂質・タンパク質等の生体関連物質の基礎知識を学習する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 化学概論、原子、分子、周期表 ② 水素結合、イオン結合、電子殻、価電子 ③ 濃度、溶液 ④ コロイド、気体、圧力 ⑤ 酸と塩基、ヒドロキシアパタイト ⑥ フッ化ナトリウム、酸化と還元 ⑦ 糖 ⑧ 脂質 ⑨ 有機化合物 ⑩ 医薬 作用機序 ⑪ 歯科材料 ⑫ 金属材料、複合材料 ⑬ 核酸化学 ⑭ 代謝 ⑮ まとめ
成績評価	小テストと期末試験より評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：最新 歯科衛生士教本 化学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	毎回講義の最後に小テストを行う

2019年度

科目名	英会話
担当教員	ZHOU CIAN
実務年数	
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義
授業科目概要	外国の患者様との意思疎通を図るための英語を学んでほしい。相手の主訴を正しく聞き取れ、発音良く礼儀よく伝えられるコミュニケーション力を目指す。テキストの例文を使い、会話の中で単語習得、文法説明を導入していく。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 英語で自己紹介、アメリカの歯科事情、歯科衛生士に必要な基本単語 ② 電話対応（予約・初診アンケート等） ③ 患者の主訴を聞き取る、レントゲン検査 ④ 刷掃指導 ⑤ 単位試験 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験、受講時の活躍度
教科書	資料を配布
参考書等	歯科衛生士、歯科医師のための実用英会話（医歯薬出版）
履修上の注意	実際、外国の歯科事情を紹介しながら、楽しく進めていく

2019年度 シラバス

科目名	情報処理実習
担当教員	笹部建
単位（時間数）	30時間
履修対象・形態	実習
授業科目概要	パソコンによる基礎的な作業のための知識の習得を目的とする。具体的には、OS (Windows) の簡単な動かし方を覚えてもらった上で、Word, Excel, PowerPointなどのソフトウェアを用いた文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの技術を学んでいく。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① パソコンの基本操作① 用途とその背景 ② パソコンの基本操作② 起動、入力、保存、再生、コピー、削除、設定など ③ 文書作成① 形式・印刷・文章入力など ④ 文書作成② 企画案内、議事録、通達、書類作成など ⑤ 文書作成③ 図表やイラストの挿入など ⑥ 文書作成④ 課題作成 ⑦ 表計算① 数値の入力 ⑧ 表計算② 数値の計算 ⑨ 表計算③ 数値の図表化 ⑩ 表計算④ 課題作成 ⑪ プレゼンテーション① スライドの作成 ⑫ プレゼンテーション② スライドの編集 ⑬ プレゼンテーション③ スライドの発表（1） ⑭ プレゼンテーション④ スライドの発表（2） ⑮ まとめ・復習
成績評価	課題とスライド発表によって評価する。
教科書	『30時間アカデミック 情報リテラシー office 2016』 実教出版。
参考書等	授業時間中に適宜指示する。
履修上の注意	課題作成やリテラシーにより個々人の作業時間に差があるため、私語等がないように注意すること。

2019年度

科目名	心理学
担当教員	岩下美穂
実務年数	
単位 (時間数)	1 単位 (30時間)
履修対象・形態	1 年生 講義
授業科目概要	医療の対象となる「人」について理解を深めることは、医療においても重要となる。この授業では、発達や人とのかかわり方についての心理学的知見を身につけること、人間及び人間を取り巻く環境について心理学的な見方、とらえかたができるようになること、自分自身についての理解を深め、医療の現場においていかに人とかかわっていくかについて、自分の個性・特性をふまえた上で考えることができるようになることを目指す。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション — 心理学とは ② コミュニケーション — コミュニケーションのプロセスと援助的かかわり ③ 対人認知と社会的スキル ④ 聴くスキル — 聴くことの機能 ⑤ 聴くスキル — 聴くスキルの実際 ⑥ 自己理解のために — 「私マップ」づくり ⑦ 主張するスキル — 上手に伝えるために ⑧ 発達 — 発達と発達段階 ⑨ 発達 — 自我の発達漸成理論とピアジェの発達段階説 ⑩ 自己理解のために — EPPSを用いて ⑪ 発達 — 各発達段階ごとの特徴 胎児期・乳児期 ⑫ 発達 — 各発達段階ごとの特徴 幼児期・児童期 ⑬ 発達 — 各発達段階ごとの特徴 青年期・成人期・高齢期 ⑭ 発達障害の理解 ⑮ まとめ
成績評価	筆記試験により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修 『心理学』 医歯薬出版株式会社
参考書等	鈴木 伸一 編著 『対人援助と心のケアに生かす心理学』 有斐閣
履修上の注意	心理学を学ぶということは、自分のこと、周りの人のことについて考えることだと思います。自分にひきつけながら学んでいただけると嬉しいです。

2019 年度

科目名	生物学
担当教員	岡村 英幸
実務年数	
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	一般教養としての基本的な生物的素養を身に付け、かつ歯科衛生士国家試験に必要とされる、人体に関連する生物学的基礎知識を習得する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 生命の誕生と変遷 ② 細胞の構造 ③ 細胞の機能 ④ 細胞分裂，組織と器官 ⑤ 生殖と減数分裂 ⑥ 遺伝と遺伝子 ⑦ 刺激の受容と反応，恒常性 ⑧ 単位試験 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	小テストと期末試験，および出席状況などによる総合評価による。
教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版株式会社
参考書等	高校生物の図説があればよい。
履修上の注意	ノート持参のこと。

2019年度

科目名	文学（文章表現法）
担当教員	笠田 真由美
実務年数	
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義・演習
授業科目概要	文章の内容を正しく読み取り、自分の考えをわかりやすく表現することは、社会人として必要不可欠である。この授業では、自分の考えを正しい表現方法で伝えることを第一の目的とし、文章構成、論文作成技法など実践を通して日本語表現の能力の向上を目指す
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① アカデミックワードと日常語 ② 句読点、見やすい表記 ③ わかりやすい文章の書き方 ④ わかりやすい語順 ⑤ 小論文の書き方 ⑥ 小論文作成のポイント ⑦ 報告書、レポートの作成方法 ⑧ 考察の記入方法 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	毎回の課題提出 小論文
教科書	なし
参考書等	随時プリントを配布
履修上の注意	毎回の課題を必ず提出してください

2019年度

科目名	倫理学
担当教員	吉田 真一郎
実務年数	20年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	倫理学（歯科医療倫理）は言葉の意味を理解するだけでなく、対人間、患者さんに実践できることが大切である。コミュニケーションの基礎を学び、実践できるようにしていくことを目標とする。今後歯科衛生士になるにあたり、必要な基礎知識の習得ならびに、医療人としての考え方について双方向の講義を目指し、グループワークやカウンセリング実習をとおして、コミュニケーションスキルの習得も目指す。
授業計画	① なぜ倫理学を学ぶのか ② インフォームドコンセント、コミュニケーション ③ 口腔がんの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ④ 親しらずの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ⑤ 歯科衛生士のやりがい ⑥ コミュニケーションの大切さ ⑦ 守秘義務について ⑧ 国試対策 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	課題、単位試験より評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新 歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	率直、前向き、勉強好きの3点を意識し、学ぶ事を楽しもうとすること

科目名	栄養指導学
担当教員	山下絵美
実務年数	8年（管理栄養士）
単位（時間数）	1単位 30時間
履修対象・形態	3年生・講義
授業科目概要	<p>栄養学の基礎知識および健康の維持・増進のために必要な栄養素について理解する。さらに栄養上の問題点等を理解し、歯科衛生士として必要な栄養指導の基本知識を身につける。</p> <p>また、う蝕や歯周病といった歯科疾患は、食生活ならびに生活習慣に大きく関与している。そのため、ライフステージ別の食生活の特徴を把握するとともに、望ましい食生活の実践ができるよう、基本的な考え方や理論を身につける。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 栄養および食生活の基礎 ② 食育について ③ 健康と食生活、歯科疾患と食生活について ④ 国民健康・栄養調査、健康日本21 ⑤ 食生活指針、食事バランスガイド ⑥ 日本人の食事摂取基準 ⑦ 特別な支援が必要な者への食事指導 ⑧ まとめ
成績評価	小テスト（20%）、レポート（30%）、定期試験（50%）の総合評価
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士「生化学・栄養指導」 女子栄養大学出版部「食品80キロカロリーガイドブック」
参考書等	女子栄養大学「栄養素の通になる」第4版
履修上の注意	小テストを行う回がありますので、前回の復習をして講義に臨みましょう。

科目名	衛生学・公衆衛生学
担当教員	高山 由紀
実務年数	31年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	衛生・公衆衛生学では健康に影響を及ぼす環境について学び、健康の保持増進、集団対象の保健施策を理解する基礎知識をつける。また、歯科衛生士にとって重要な学問である口腔衛生学や保健指導を学ぶための基礎となる学問である。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 衛生学 総論・予防医学 ② 疫学・人口 ③ 人口 ④ 環境衛生 ⑤ 感染症 ⑥ 食中毒・国民栄養 ⑦ 地域保健（母子・学校） ⑧ 地域保健（成人・高齢者） ⑨ まとめ ⑩ ⑪ ⑫
成績評価	単位試験結果に平常点を加算して評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	小集団でのグループ学習を取りいれます。

2019年度

科目名	衛生行政・社会福祉学
担当教員	薬師寺 健太郎
実務年数	19年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義
授業科目概要	わが国の歯科医療従事者ならびに医療機関とその団体は国民の健康及び生活の衛生の維持・向上という社会の需要に沿った行動が求められている。それぞれの職種とその役割、医療の在り方並びに公衆衛生活動に関わる法制度並びに各種保健・社会福祉制度について講義を通じて理解を深めるとともに、社会に貢献する歯科衛生士のあり方やその活動の意義について考察を行う。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 概論 1：衛生行政と社会保障制度の目的と沿革 ② 概論 2：わが国の社会保障制度と衛生行政の仕組み（組織とその運営） ③ 衛生関係法 1：保健医療従事者各職種及びその業務に関する法律について。 ④ 衛生関係法 2：医療制度に関する法律について。 ⑤ 衛生関係法 3：衛生行政の運営に関する法律について。 ⑥ 保健医療の動向について 1：生活の質に関する統計調査とその動向について。 ⑦ 保健医療の動向について 2：歯科保健医療に関する統計調査とその動向について。 ⑧ 保健医療の動向について 3：医療と社会保障の経過と実績に関する統計調査とその ⑨ 社会保険制度について 1：わが国の社会保険制度の概要 ⑩ 社会保険制度について 2：健康保険制度とその運用について。 ⑪ 社会保険制度について 3：介護保険制度とその運用について。 ⑫ 社会保険制度について 4：年金保険制度とその運用について。 ⑬ 社会福祉制度について 1：生活保護制度について。 ⑭ 社会福祉制度について 2：児童と家庭の福祉制度、障害者の福祉制度について。 ⑮
成績評価	単位認定試験（筆記）にて行う。
教科書	末高 武彦著：歯科衛生士のための 衛生行政・社会福祉・社会保険、医歯薬出版 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第2版、医歯薬出版
参考書等	随時 資料を配布する
履修上の注意	

2019年度

科目名	介護技術
担当教員	小室 八千代
実務年数	46年（看護師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期講座・演習
授業科目概要	<p>歯科衛生士の働く現場では、高齢者や障がい者と多く関わることになり、安全に対応するためにも介護技術が必要となります。そこで、基礎介護技術について根拠を示しながら、より安全に実践できるように解説し、演習をしていきます。また、個人の尊厳を尊重した介護ができるようにしていきます。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業オリエンテーション 介護とは何か、介護保険制度について理解 ② 健康状態の把握・・・血圧、脈拍、呼吸測定 P133～P145 ③ 居室の環境整備・・・ビデオ学習（高齢者住宅の基本アドバイス） ④ 住宅改修・福祉用具について理解 教科P20～P34 ⑤ 衣類の着脱介助、褥瘡・廃用性症候群について理解 教科書P121～P132 ⑥ 視覚障がい者の歩行介助、教科書P68～P69 ⑦ 食事介助 教科書P70～P86 ⑧ コミュニケーション技術・接遇（ロールプレイ）教科書P2～P19 ⑨ 清潔の介助・・・部分清拭、足浴 教科書P109～P120 ⑩ 清潔の介助・・・手浴、爪切り等 教科書P14～P16 ⑪ 体位変換 ボディメカニクス 教科書P35～P53 ⑫ 車いすの扱い方、ベッドから車いすの移乗介助 教科書P54～P108 ⑬ 排泄の介助・・・排泄用品の紹介 教科書P94～P108 ⑭ 認知症の理解 ⑮ まとめ
成績評価	小テスト・授業態度・出席状況30% 定期試験70%
教科書	前川美智子著：根拠からわかる介護技術の基本、中央法規出版
参考書等	介護保険のパンフレット・・・ 大阪市「ハートページ」
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の前に前回授業の小テストを実施するので復習すること ・実技練習は手際よく交代し必ず体験すること

科目名	解剖学 I
担当教員	諏訪文彦
実務経験	46年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生・前・後期 講義
授業科目概要	解剖学は人体の構造を学ぶ学問である。また歯科医学の最も基礎となる学問でもある。解剖学には、マクロレベルで学ぶ「肉眼解剖学」と、ミクロレベルで学ぶ「顕微解剖学=組織学」とがある。さらに、生命の始まりから成人の体になる過程を知る「発生学」についても学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 解剖学総論 ② 骨格系 ③ 筋系 ④ 消化器系 ⑤ 呼吸器系 ⑥ 泌尿生殖器系 ⑦ 内分泌系 ⑧ 脈管系 ⑨ 神経系 ⑩ 感覚器系 ⑪ 人体の発生
成績評価	単位テスト（筆記試験）、出席状況
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので、早く知識を身につけることが求められる。

科目名	解剖学Ⅱ
担当教員	諏訪 文彦、上村 守
実務経験	46年（歯科医師）、18年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義・実習
授業科目概要	解剖学で学んだ知識を実習を通して知識の確認をする。
授業計画	<p>① 人体解剖見学実習</p> <p>② 組織学実習（顕微鏡実習）</p> <p>③ 骨学実習</p>
成績評価	出席状況、実習レポート（スケッチ）
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	実物をみてスケッチブックに形を描き、解剖学で得た知識を確認する

科目名	看護・救急蘇生法
担当教員	村上 未恵
実務年数	14年（看護師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習
授業科目概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命徴候のアセスメントができる（血圧・脈拍・体温測定） 2. 血圧測定・脈拍測定の技術の獲得、数値の判断ができる。 3. 歯科治療における偶発症の理解とその対応がわかる。 4. 救急時のBLSの知識の獲得、AEDの正しい使用方法がわかる。 5. 吸引法の知識の獲得と技術方法がわかる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 歯科治療における偶発症について ② 救急蘇生法 ③ 血圧測定・脈拍測定演習 ④ 血圧測定・脈拍測定演習脈拍測定演習 ⑤ 看護救急 BLS ⑥ AED使用実践 ⑦ 吸引法 講義（口腔内・気管内・鼻腔吸引について） ⑧ 吸引法 実践（マナボットを使用して）
成績評価	単位試験（100点）
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	口腔衛生学
担当教員	高島 怜子、尾辻 淳
実務年数	15年（歯科医師）、43年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生・前・後期 講義
授業科目概要	<p>口腔衛生学では、歯・口腔を健康に保つための原理を探り身につけることはもちろん大切である。</p> <p>口腔衛生学では、1、歯・口腔の正常な状態と機能の理解を十分もつ 2、歯・口腔に起こる健康障害について十分な知識をもつ 3、健康障害の発生の阻止や予防、健康増進の具体的な手段、方法をもにつける</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 健康の概念 ② 予防医学の概念・口腔衛生学の概念 ③ 歯科疾患の疫学 ④ 歯・口腔の健康 ⑤ 口腔の不潔 ⑥ 口腔清掃 ⑦ う蝕の予防 ⑧ フッ化物によるう蝕予防 ⑨ 歯周疾患の予防 ⑩ その他の疾患の予防 ⑪ 地域歯科保健指導 ⑫ ライフステージごとの口腔保健管理 ⑬ 地域保健・公衆衛生 ⑭ 母子保健・学校保健 ⑮ 成人保健・産業保健・老人保健
成績評価	定期試験（筆記：論述）、100点満点、60点以上で合格
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	口腔保健のためのフッ化物応用ガイドブック（財）口腔保健協会
履修上の注意	全ての講義に出席すること

科目名	口腔解剖学
担当教員	諏訪 文彦、中道 哲
実務経験	46年（歯科医師）、39年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	口腔解剖学は、歯ならびに歯周組織を学ぶ学問で、歯科医学の最も基礎となる学問であり、歯科医学の最も直結する学問である。マクロレベルで学習する口腔解剖学と、ミクロレベルで学習する口腔組織学とがある。口腔は独立して存在するのではなく、全身の一部であり、歯と歯周組織も同様に全身と深く関わっている。口腔解剖学においては、歯と歯周組織について、「からだ」の一部としてその構造を学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 口腔解剖学 総論 ② 歯の用語 ③ 永久歯（前歯） ④ 永久歯（臼歯） ⑤ 乳歯（乳前歯） ⑥ 乳歯（乳臼歯） ⑦ 歯の配列と咬合 ⑧ 異常歯 ⑨ 歯の発生・萌出 ⑩ 歯周組織 口腔組織（エナメル質） ⑪ 口腔組織（象牙質 歯髄） ⑫ 口腔組織（セメント質 歯根膜） ⑬ 口腔組織（歯槽骨 歯肉） ⑭ 口腔組織（歯肉） ⑮ まとめ
成績評価	出席状況、小テスト、単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので早く知識を身につけることが求められる。

科目名	口腔外科学
担当教員	妹尾 日登美
実務年数	26年（歯科医師）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	顎顔面領域の疾患について学習し、その診断、治療、手術器具、術後管理などに関する基本的事項および、歯科麻酔学についても学習する。その上で口腔外科治療における歯科衛生士の役割、対応の仕方についても学習する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 口腔外科の概要 ② 基礎疾患について ③ 口腔、顎顔面の異常 ④ 外傷 顎関節疾患 ⑤ 口腔粘膜疾患 血液疾患 ⑥ 炎症 舌腫脹と疾患 ⑦ 口腔腫瘍 ⑧ 唾液腺疾患 神経疾患 ⑨ 口腔外科診療の実際 ⑩ 口腔外科診療の業務 ⑪ 歯科麻酔 ⑫ 口腔外科 歯科麻酔の臨床における歯科衛生士の役割 ⑬ 口腔外科実習 心肺蘇生 ⑭ 口腔外科実習 外科器具 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	質問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください

2019年度

科目名	口腔生理学
担当教員	岩崎 精彦
実務経験	36年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	口腔生理学は生理学の一分科である。おもに歯、咬合、咀嚼、嚥下、嘔吐、味覚、口腔感覚、唾液分泌および発声などをとり扱っている。口腔各器官の機能と各器官の相互関係から口腔機能の特徴を知り、口腔各器官の生理的メカニズムを理解させること。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯および歯周組織の生理 ② 咬合および顎運動 ③ 咀嚼および嘔吐 ④ 口腔感覚 ⑤ 発生および発音 ⑥ 咀嚼 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	覺道幸男、吉田羊、西川泰央、杉村忠敬、内橋健二著：歯科衛生士テキスト 生理学、学建書院
参考書等	ビジュアル口腔生理学、学建書院
履修上の注意	講義の内容について毎回復習をおこたらない様にする

科目名	口腔微生物学
担当教員	高田春比古
実務年数	43年（歯科医師）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	<p>歯科領域の2大疾患であるう蝕（むし歯）と歯周病に関わる口腔細菌を中心に、様々な口腔感染症に関わる微生物について専門的知識を習得する。さらに歯科臨床に必要な化学療法、滅菌・消毒法についても専門的知識を習得する。これらの学習を通して、歯科衛生士として、感染症に対する正しい姿勢を身につける。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 「微生物学」総復習 ② 「免疫学」総復習 ③ 口腔細菌叢とデンタルプラーク（バイオフィルム） ④ う蝕と細菌（1） ⑤ う蝕と細菌（2） ⑥ 歯周病と細菌（1） ⑦ 歯周病と細菌（2） ⑧ その他の口腔感染症 ⑨ 小テスト（口腔微生物と感染症）と解説 ⑩ 化学療法 ⑪ 滅菌と消毒 ⑫ 細菌の培養と観察の方法 ⑬ 小テスト（化学療法、細菌・消毒等）と解説 ⑭ 総復習（質問の時間） ⑮ 単位試験
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価する
教科書	最新歯科衛生士教本、疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	<p>授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位テストは問題なくクリアできる。</p>

科目名	口腔病理学
担当教員	畑 慎太郎
実務年数	17年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯の異常 ② 歯の異常 ③ 歯の付着物 ④ 歯の付着物 ⑤ う蝕 ⑥ う蝕 ⑦ う蝕、歯髄疾患 ⑧ 根尖性歯周炎 ⑨ 根尖性歯周炎 ⑩ 歯周疾患 ⑪ 粘膜の病変 ⑫ 顎骨の病変、のう胞 ⑬ のう胞 ⑭ 口腔領域の腫瘍 ⑮ 腫瘍
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	淵端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	

2019年度

科目名	口腔保健管理 I
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・実習
授業科目概要	小学校でのブラッシング指導への媒体作成等の準備ならびにリハーサル、他学科学生、誘致患者への実習を通して対象別の歯科保健指導を学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 小学校歯科保健指導ガイダンス ② 小学校歯科保健指導事前準備 ③ 小学校歯科保健指導事前準備 ④ 小学校歯科保健指導事前準備 ⑤ 小学校歯科保健指導事前準備 ⑥ 小学校歯科保健指導事前準備 ⑦ 小学校歯科保健指導事前準備 リハーサル ⑧ 他学科学生との合同実習 ⑨ 他学科学生との合同実習 ⑩ 誘致患者実習 ⑪ 誘致患者実習
成績評価	各講義（実習）終了後にレポート課題を提出 評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	歯科保健指導の対象者のライフステージに合わせた実習ができるようにする

2019年度

科目名	口腔保健管理Ⅱ
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	3年生の臨地・臨床実習をとおり、歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論の内容を統合し、患者に適した口腔保健管理プログラムを作成し、実践できる能力をみにつける。
授業計画	① 概論 ② 臨地・臨床実習における患者の把握について ③ 個々の臨地・臨床実習の実習記録から考察 ④ 個々の臨地・臨床実習の実習記録から考察 ⑤ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成 ⑥ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成 ⑦ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成 ⑧ 個々の口腔保健管理プログラム まとめ
成績評価	作成した口腔保健プログラム提出により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	

科目名	口腔薬理学
担当教員	篠原 光子
実務年数	47年（薬剤師）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	薬物の基本的知識を理解して薬物と生体と疾患の三者のかかわり合いを念頭にいれ、歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力養う
授業計画	<p>① 8章 血液と薬 9章 救急医療に使用する薬</p> <p>② 10章 呼吸・循環器と薬</p> <p>③ 11章 代謝と薬</p> <p>④ 12章 消化器系と薬</p> <p>⑤ 13章 悪性腫瘍と薬</p> <p>⑥ 14章 免疫系と薬 15章 粘膜・組織の腐食薬と収れん薬</p> <p>⑦ 16章 歯肉治療薬 17章 歯周治療と薬 18章 口腔粘膜疾患と薬</p> <p>19章 う蝕予防と薬</p> <p>⑧ まとめ</p>
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編： 新 歯科衛生士教本 薬理学、医歯薬出版
参考書等	疾病の診断と回復の促進 「薬理学」医歯薬出版、今日の治療薬2017 南江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

科目名	高齢者歯科学
担当教員	藤岡 宗之輔
実務年数	19年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義
授業科目概要	高齢者は、身体機能および口腔機能が低下していることが多く、全身疾患を有し、身体状況に個人差が大きいなどの特徴があるため、それを踏まえた対応が必要である。他職種連携が広がっている中、歯科衛生士は口腔の専門家として、高齢者の口腔機能を維持・向上させて管理する役割をもっている。そのための方法を体系的に学び、臨床に応用するための基礎知識を修得することを目的とする。
授業計画	<p>① 加齢による身体的・精神的変化と疾患</p> <p>② 口腔機能管理の基本概念</p> <p>③ 口腔機能管理各論（咬合、咀嚼、唾液、発音・構音、味覚など）</p> <p>④ 高齢者の栄養管理</p> <p>⑤ 医療・介護の連携</p> <p>⑥ 口腔機能管理についての実践例を読んでレポート作成</p>
成績評価	教科書を読み、レポートを作成する。講義終了後、筆答により知を判定、評価を行う。
教科書	「歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 高齢者編」医歯薬出版
参考書等	「最新 歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版」医歯薬出版 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版」永末書店
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

2019年度

科目名	歯科衛生士概論 I
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1 年生・講義
授業科目概要	歯科衛生を実践して人々の健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 働くことの意味（企業） ② 歯科衛生士の法的性格と業務内容 口腔の疾病・異常 ③ 歯科医療の三要素 ④ 業務記録の意義 ⑤ 保健・医療・福祉分野の専門職の業務 ⑥ 他職種との連携の意義 ⑦ 歯科衛生士の誕生と経緯 ⑧ 歯科衛生過程の構成要素 ⑨ 海外における歯科衛生士教育内容と日本の教育内容
成績評価	課題レポートによる評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論、医歯薬出版
参考書等	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論、医歯薬出版
履修上の注意	

2019年度

科目名	歯科衛生士概論Ⅱ
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を高める。演習では模擬患者へのメディカルインタビューを実施する
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① メディカルインタビューに必要なこと ② 実習先でのコミュニケーションについて（企業） ③ 模擬患者へのメディカルインタビュー（グループワーク） ④ 模擬患者へのメディカルインタビュー発表 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	授業態度 発表内容、課題レポートにて評価する
教科書	資料配布
参考書等	
履修上の注意	グループワークを実施するので全出席を基本とする

科目名	歯科矯正学
担当教員	高橋 啓
実務年数	32年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	<p>歯科矯正学は不正咬合や咀嚼障害の原因・治療法およびその予防法を研究する歯学の一分科であり、歯科矯正学を理解することは、口腔機能の異常、その治療法や予防法を理解するために役立ち、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要である。授業では歯科矯正学の概要を理解し、口腔機能に対する理解をとおして不正咬合を見分ける力を与え、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要な歯科矯正学上の知識の習得をはかる。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 矯正歯科治療の概要 ② 成長・発育 ③ 正常咬合と不正咬合 ④ 矯正歯科診断 ⑤ 矯正歯科治療と“力” —矯正力・顎整形力・保定— ⑥ 矯正装置 ⑦ 矯正歯科治療の実際 ⑧ 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 ⑨ 単位試験 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	記述式の単位試験を行い、臨床の携わった必要な知識が備わっているかを評価する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科矯正、医歯薬出版
参考書等	やさしくわかる矯正歯科治療 歯並びコーディネーター入門書 日本成人矯正歯科学会 編、医歯薬出版
履修上の注意	教科書の内容をもとに要点を整理し、国家試験の試験問題に対応できるように板書します。板書した内容を必ずノートに写し、まとめましょう。臨床例を提示しますので、矯正治療の概略、メリットとデメリットについて理解し、臨床の場で充分に対応できる知識を身につけましょう。

2019年度

科目名	歯科材料学
担当教員	山口 哲
実務年数	17年（工学博士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前期
授業科目概要	欠損した顎口腔組織の形態と機能の回復を目的として、金属、高分子、セラミックス、およびそれらの複合体からなる様々な材料が、日常臨床で使用されている。本科目では、現在臨床で使用されている各種の歯科材料の組成、構造、特性等について学ぶとともに、それらの取り扱いを含め、歯科衛生士が知っておくべき歯科材料に関する知識を広く学習する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 歯科材料の基礎知識 ② 印象材 ③ 模型用材料 ④ 合着材および接着材 ⑤ 成形修復材 ⑥ 仮封材 ⑦ ワックス ⑧ 新しい歯科材料
成績評価	筆記試験
教科書	「歯科診療補助論」，初版， 監修 全国歯科衛生士教育協議会，医歯薬出版株式会社
参考書等	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」，第3版， 監著 竹澤保政，編集 渡辺美里，永末書店
履修上の注意	次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。

2019年度

科目名	歯科診療補助論 I
担当教員	佐藤 里映子
実務年数	13年（歯科衛生士）
単位（時間数）	2単位（60時間） 必修
履修対象・形態	1年生通年 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 概論・感染予防対策・手指消毒の実践 ② 消毒・滅菌の実践 各種衛生材料の作成、共同動作の基本 講義・実践 ③ 共同動作・器材の受け渡しの実践 チェアへの取り扱い ④ 主要歯科材料の種類と取り扱い（合着セメント） 講義・実習 ⑤ 主要歯科材料の種類と取り扱い（合着セメント） 練和テスト ⑥ 主要歯科材料の種類と取り扱い（アルジネート） 講義・実習 ⑦ 主要歯科材料の種類と取り扱い（アルジネート） 練和・印象採得 テスト ⑧ 歯科用石膏の種類と取り扱い 講義・実習 ⑨ 歯科用石膏の種類と取り扱い 実習 ⑩ ラバーダム防湿 講義・実習 ⑪ ラバーダム防湿 実習 ⑫ ラバーダム防湿 テスト ⑬ 歯周包帯 講義・実習 ⑭ 口腔内写真 講義・実習
成績評価	単位試験・実技評価・レポート・授業態度
教科書	最新歯科衛生士科教本 「歯科診療補助」 医歯薬出版
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店 歯科材料 全国 歯科衛生士教育協会（編） 医歯薬出版株式会社 歯科機器 全国歯科衛生士教育 協会（編） 医歯薬出版株式会社 感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄
履修上の注意	補填実習はありません。すべての実習に出席する事。準備が整っていない場合は実習に出席できません。

2019年度

科目名	歯科診療補助Ⅱ
担当教員	定延 渚
実務年数	12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（45時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・器材の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療を行えることを目標とする。
授業計画	① 寒天・アルジネート印象材 講義・演習 ② シリコン印象材 講義・演習 ③ 仮封材 講義・演習 ④ 医療事故・ヒヤリハット・偶発事故 ⑤ 診療補助の実践① 一般・共同動作・セメント練和テスト ⑥ 診療補助の実践② 共同動作・アルジネート印象材 練和テスト ⑦ カルテ読み取り・清潔操作 ⑧ 臨床実習前実践① ⑨ 臨床実習前実践② ⑩ 臨床実習前テスト① ⑪ 臨床実習前テスト②
成績評価	単位試験・実技試験・レポート・授業態度・出席状況等を総合して評価する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店 歯科材料 全国歯科衛生士教育協議会（編） 医歯薬出版株式会社 歯科機器 全国歯科衛生士教育協議会（編） 医歯薬出版株式会社 感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編） 医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。補填実習などはありません。 身だしなみをしっかりし、教科書等の忘れ物をしないこと。 レポート等の提出物はきちんと提出すること。

2019年度

科目名	歯科診療補助Ⅲ
担当教員	定延 渚
実務年数	12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	3年生 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・器材の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療を行えることを目標とする。
授業計画	① 主要歯科材料の種類、取り扱いと管理
	② 保存・小児治療時の診療補助
	③ 補綴・矯正治療時の診療補助
	④ 口腔外科・X線撮影時の診療補助
	⑤ カルテ分析
	⑥ カルテ分析
	⑦ カルテ分析
成績評価	単位試験・実技試験・レポート・授業態度・出席状況等を総合して評価する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科材料 全国歯科衛生士教育協議会（編） 医歯薬出版株式会社
	歯科機器 全国歯科衛生士教育協議会（編） 医歯薬出版株式会社
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編） 医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。補填実習などはありません。
	身だしなみをしっかりし、教科書等の忘れ物をしないこと。
	レポート等の提出物はきちんと提出すること。

科目名	歯科統計学
担当教員	竹内 純、鈴木 亜紀
実務年数	23年（中高1種免許）、12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士の必要な情報収集のための疫学について学ぶ。度数分布表、ヒストグラム。う蝕に関する統計処理、歯周疾患に対する統計処理、口腔の汚染に関する統計処理を学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 度数分布表、ヒストグラム ② 代表地（平均、中央値、再編値）・散布度（平均偏差、分散、標準偏差） ③ 保健情報と保健統計 ④ 歯科統計概論 ⑤ 共分散、相関係数 ⑥ 区間検定（母平均） ⑦ 検定 ⑧ 統計学まとめ ⑨ 保健情報と疫学 ⑩ 保健情報と疫学 ⑪ 統計問題演習 ⑫ 歯科疾患の指標 ⑬ 口腔清掃その他の歯科疾患の疫学と指標 ⑭ 国試過去問題 演習 ⑮ 歯科保健情報統計まとめ
成績評価	単位試験にて評価（統計学：40%、歯科統計学：60%）
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健情報統計学、医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本 「歯周疾患」
履修上の注意	補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて、遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2019年度

科目名	歯科保健指導 I
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前進の健康管理が維持できるように支援する。本講では健康維持・保健教育の基礎知識と技術を習得する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 概論 ② 口腔清掃用具 ③ 歯ブラシの種類 ④ 学齢期の口腔について ⑤ ブラッシング方法1 合同実習について ⑥ 合同実習 ⑦ 補助的清掃用具（デンタルフロス）、ブラッシング方法2 ⑧ O'Learyの評価 ⑨ ブラッシング実技試験 ⑩ 歯磨剤と洗口剤、歯垢染色 口腔清掃 ⑪ 対象把握のための情報収集 ⑫ メディカルインタビューについて ⑬ 歯・口腔の疾患観察 ⑭ 歯科衛生過程1 ⑮ まとめ
成績評価	実技試験、単位試験、授業態度により評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	講義を受講するにあたって、自分自身の口腔内状態を把握しておくこと。

科目名	歯科保健指導Ⅱ
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前歯の健康管理が維持できるように支援する。本講では1年次に習得した内容を基に、各ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門的知識と技術および態度を習得する。
授業計画	<p>①② 歯科口腔保健法、妊産婦期の歯科衛生介入</p> <p>③④ 新生児期・乳幼児期の歯科衛生介入</p> <p>⑤⑥ 学齢期の歯科衛生介入</p> <p>⑦⑧ 問診票ならびに指導媒体の見直し</p> <p>⑨⑩ 青年期の歯科衛生介入</p> <p>⑪⑫ 老年期の歯科衛生介入、要介護高齢者への歯科衛生介入</p> <p>⑬⑭ 1・2年生合同実習の事前準備</p> <p>⑮⑯ 高齢者歯科保健指導 介助の姿勢、有床義歯の取り扱い</p> <p>⑰ 臨床検査科学生への歯科保健指導 指導計画の立案</p> <p>⑱⑲ 臨床検査科学生への歯科保健指導</p> <p>⑳㉑ 有病者への口腔衛生管理Ⅰ（脳卒中、心疾患）</p> <p>㉒㉓ 誘致患者実習 計画の立案 事前準備</p> <p>㉔㉕ 有病者への口腔衛生管理Ⅱ（がん、精神疾患）</p> <p>㉖㉗ 食生活と歯科疾患</p> <p>㉘㉙ まとめ</p>
成績評価	単位試験、授業態度により評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	歯科予防処置論の講義と関連づけて受講していくこと

科目名	歯科保健指導Ⅲ
担当教員	福田 弘美
実務年数	39年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前進の健康管理が維持できるように支援する。本講では1・2年次に習得した内容を基に健康維持・保健教育の知識と技術を習得する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 公衆衛生について ② 地域歯科保健指導について ③ 集団の指導法 事業所 ④ 労働安全衛生法 ⑤ 歯科衛生過程Ⅲ ⑥ 事業所 歯科保健指導の実際 ⑦ 集団保健指導について ⑧ まとめ
成績評価	単位試験、授業態度により評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	歯科予防処置論の講義と関連づけて受講していくこと

科目名	歯科補綴学
担当教員	藤岡 宗之輔
実務年数	19年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯科補綴学では、顎口腔機能の健全な状態および障害のある状態について学習し、その障害を回復・維持するための、歯科補綴装置について、診断、治療、術後管理等に関する基本事項を学習する。また、補綴治療を必要とする患者に対する歯科衛生士としての対応の仕方について学習する。
授業計画	① 歯科補綴概論
	② 歯科補綴の基礎
	③ 全部床義歯補綴
	④ 部分床義歯補綴
	⑤ クラウン・ブリッジ補綴
	⑥ インプラント補綴
	⑦ 患者指導
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	講義終了後、筆答により知を判定、評価を行う。
教科書	「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学」クインテッセンス出版
参考書等	「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴」医歯薬出版 「歯科衛生士のための補綴科アシスタントブック」学建書院
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

科目名	歯科放射線学
担当教員	木原 卓司
実務年数	50年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義・実習
授業科目概要	<p>エックス線が人間の五感に感じないことから、歯科エックス線診療の現場では、必要以上に怖がったり、逆に大胆になりすぎたりと、少なからず混乱を生じている。そこで、エックス線についての正しい知識を身に付け、患者に不安を与えないよう適切に行動できるようにする、ということを目指して、医学におけるエックス線の有用性とその利用の現況を解説するとともに、エックス線の人体への影響の発生の危険性とその防護法について解説する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① ビデオによる導入 ② X線の発生 一般的性質 減弱 ③ X線装置 撮影法（口内法、口外法） ④ X線 フィルム ⑤ 写真処理（現像） ⑥ 正常像 撮影部位の判別 ⑦ 病的像Ⅰ（読影） 根尖病巣の診断 ⑧ 病的像Ⅱ 放射線障害Ⅰ ⑨ 放射線障害Ⅱ ⑩ 放射線防護 ⑪ 口内撮影相互実習 ⑫ 口内撮影相互実習 ⑬ 口内撮影相互実習 ⑭ 口内撮影相互実習 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科放射線、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	歯周療法学
担当教員	西原 嘉男
実務年数	24年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯周病の予防、治療について学ぶ。歯周病の分類や病態に関する知識を身につける。歯科衛生士として適切な治療選択をし、実行できるための基礎を習得する。
授業計画	① 正常な歯周組織について ② 歯周疾患の分類、病因 ③ 歯周疾患の病態、診査診断 ④ 歯周基本治療、歯周外科 ⑤ メンテナンス、実習 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
成績評価	選択、記述混合の試験の成績による
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 歯周病学、医歯薬出版
参考書等	歯周治療学 医歯薬出版 等
履修上の注意	基礎的内容をしっかりと習得する

科目名	社会保険制度
担当教員	榊田 康宏
実務年数	18年（歯科医師）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	3 年生・前・後期 講義
授業科目概要	現行の社会保険制度について実際の臨床症例を織り交ぜて解説する。
授業計画	① 歯科用語、略称について ② 歯の知識について ③ 歯科衛生業務について（検査など） ④ 社会保険制度について ⑤ レセプトと保険請求のしくみについて ⑥ カルテ1号用紙記入方法 ⑦ 学校検査について ⑧ 老人保健について ⑨ 介護保険について ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験にて評価
教科書	歯科保険請求マニュアル 平成30年版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2019年度

科目名	小児歯科学
担当教員	佐々木 秀和
実務年数	23年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	教科書の重要点（過去に国家試験に出題された箇所、出題されそうな箇所）をまとめたプリントも配布する。また、教科書の内容と実際の臨床症例をスライドで示し、視覚的に印象づけながら内容を解説する。
授業計画	① 毎回1から3章ずつ進む予定 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 小児歯科学 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2019年度

科目名	障害者歯科学
担当教員	青木 希衣
実務年数	7年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	障害者歯科は乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対して専門性が強く要求される領域とされている。身体的・精神的あるいは心理的に様々な疾患を持った患者に対する上で、歯科衛生士として理解しておかなければいけない特徴や歯科的対応について学習する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 障害の概念 ② 歯科医療で特別な支援が必要な疾患① ③ 歯科医療で特別な支援が必要な疾患② ④ 障害者の歯科医療と行動調整 ⑤ 健康支援と口腔衛生管理 ⑥ リスク評価と安全管理 ⑦ 摂食・嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割 ⑧ 地域における障害者歯科
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「障害者歯科」医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	

科目名	生化学・口腔生化学
担当教員	涌本 昇
実務経験	47年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	栄養素でもあり、体の構成成分、体の機能を調整する糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、無機質の五大栄養素について学ぶ。又酵素、ホルモンについても学ぶ。 歯を中心とする口腔組織の構成成分、歯の石灰化、唾液の化学組成と機能、歯垢（デンタルプラーク）を中心とする歯の堆積物について詳しく学ぶ
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ② 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ③ 糖質（複合多糖） ④ 脂質（単純脂質、複合脂質、誘導脂質） ⑤ タンパク質（アミノ酸） ⑥ タンパク質（ペプチド、タンパク質） ⑦ 核酸（DNA, RNA、ヌクレオチド） ⑧ 酵素 ⑨ ビタミン（水溶性ビタミン、脂肪性ビタミン） ⑩ 無機質（Ca, P, Na, k, Mg, I, Fe, Cu, Zn） ⑪ 中間試験 ⑫ ホルモン ⑬ 消化 ⑭ 口腔生化 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 栄養と代謝、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	講義の内容と教科書の内容を毎回照らし合わせるなど、復習をおこたらないようにする

2019年度 シラバス

科目名	生理学
担当教員	加藤 智樹
単位（時間数）	1 単位（30 時間）
履修対象・形態	1 年次 前期 講義
授業科目概要	歯科衛生士の業務はヒトを対象とした医療業務であるため、人体の構造と機能について理解し、人体に発生する疾患の理解につなげていかなければならない。本科目では、人体の各臓器の機能と連携について問題演習も含めて講義する。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 解剖学と生理学／生理学の基礎／ホメオスタシス／細胞・細胞内小器官の機能 ② 消化器系（口腔・食道・胃・小腸・大腸）の機能／消化液と消化酵素 ③ 消化器系（肝・胆・膵）の機能／胆汁と膵液／肝での代謝／エネルギー代謝 ④ 体液と循環器系の機能／肺循環・体循環／心周期／血圧と血圧調節 ⑤ 微小循環／リンパ液とリンパの循環 ⑥ 呼吸器系（気道、肺）の機能／内呼吸と外呼吸／呼吸気量 ⑦ 血液と酸素飽和度／呼吸の調節／血球と血漿タンパク質の機能 ⑧ 泌尿器系（腎臓、尿管、膀胱など）の機能／尿生成と排尿機構 ⑨ 神経系の機能／中枢神経系と末梢神経系／神経細胞とシナプス ⑩ 伝導路／筋の種類と収縮・弛緩／神経と筋の連携／反射 ⑪ 感覚の種類と感覚器の機能／視覚・聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚 ⑫ 内分泌系（視床下部-下垂体系、甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎など）の機能 ⑬ 性腺と生殖器系の機能／体温 ⑭ まとめと問題演習 ⑮ 筆記試験（100点）
成績評価	筆記試験（100点）にて60点以上の成績を修めること
教科書	歯科衛生士テキスト 生理学（覚道幸男他、学建書院）
参考書等	ぜんぶわかる人体解剖図（坂井建雄他、成美堂出版）
履修上の注意	講義された内容は自ら積極的に復習し、知識の定着を図ること

2019年度

科目名	微生物学
担当教員	高田春比古
実務年数	43年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	<p>歯科領域の2大疾患であるう蝕（むし歯）と歯周病は共に細菌感染症である。感染は病原微生物の宿主の生体防御機構とのバランスによって、成立の有無・経過が違ってくる。本科目では、細菌・ウイルスを始めとする多様な病原微生物と宿主の生体防御機構の中核をなす免疫機構について、基本的な知識を修得して、感染症に対する正しい姿勢を身につける。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 微生物学、特に細菌学の歴史 ② 微生物の世界 ③ 細菌学総論：細菌の構造と生理 ④ 細菌学総論：病原因子 ⑤ 小テスト（微生物学総論）と解説 ⑥ 細菌学各論：主要なグラム陰性・陰性細菌とその感染症 ⑦ 特殊な細菌：マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチャ、クラミジア ⑧ ウイルスとその感染症 ⑨ 真菌と原虫 ⑩ 小テスト（微生物学各論）と解説 ⑪ 生体防御機構と免疫のしくみ ⑫ 液性免疫と細胞性免疫 ⑬ アレルギー ⑭ 小テスト（免疫学）と総復習（質問の時間） ⑮ 単位試験にて評価する
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価する
教科書	最新歯科衛生士教本、疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	<p>授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位テストは問題なくクリアできる。</p>

科目名	病理学
担当教員	畑 慎太郎
実務年数	17年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 病因論 ② 病因論 ③ 代謝障害 ④ 代謝障害 ⑤ 進行性病変 ⑥ 循環障害 ⑦ 循環障害 ⑧ 炎症 ⑨ 炎症 ⑩ 免疫 ⑪ アレルギー ⑫ 腫瘍 ⑬ 腫瘍 ⑭ 腫瘍 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	淵端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	講義の内容と教科書の内容を毎回照らし合わせるなど、復習をおこたらないようにする

2019年度

科目名	保存修復学・歯内療法学 I
担当教員	保尾 謙三
実務年数	12年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	保存修復学・歯内療法学を通じてう蝕の発生から病変の移行、治療内容を理解することで、歯科衛生士としての知識を身につける。また診断法・治療方法を理解することで歯科衛生士としての診療補助に役立つ知識、技術を習得する事を目標とする。臨床科目の基礎として位置付けており、広く臨床応用できるように理解を深める。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① う蝕の発生・診査診断 ② 保存修復学概要 ③ 歯髄保存療法 ④ 直接修復法 ⑤ 間接修復法 ⑥ 歯内療法学概要 ⑦ 歯髄除去療法 ⑧ 根管形成・根管充填 ⑨ 外科的歯内療法・ホワイトニング ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	授業内の小テスト・単位試験にて総合的に判断する。
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	
履修上の注意	

2019年度

科目名	保存修復学・歯内療法学Ⅱ
担当教員	保尾 謙三
実務年数	12年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義・実習
授業科目概要	保存修復学・歯内療法学の使用器材と流れを実習を通して学ぶ
授業計画	① 印象採得 ② CR修復・裏層 ③ TeC・CR修復 ④ TeC形態修正・ラバーダム防湿 ⑤ 手ごねTeC・CR修復（1級窩洞・ラバーダム下） ⑥ 手ごねTeC・CR修復（2級窩洞・ラバーダム下） ⑦ 根管治療・根管充填 ⑧ 感染根管治療 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	授業内の小テスト・単位試験にて総合的に判断する。
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	
履修上の注意	

科目名	薬理学
担当教員	篠原 光子
実務年数	47年（薬剤師）
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生 講義
授業科目概要	薬物の基本的知識を理解して薬物と生体と疾患の三者のかかわり合いを念頭にいれ、歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力養う
授業計画	<p>① I 編総論 1 章薬物の概念 2 章医療と薬物</p> <p>② 3 章 体と薬物 1 体内の薬物の移動 II 薬理作用の変動</p> <p>③ III 薬物の併用による相互作用 IV 副作用・中毒 4 章薬物の取り扱い</p> <p>5 章 薬物の管理 6 章 薬物と法律</p> <p>④ II 編 各論 1 章中枢神経と薬</p> <p>⑤ 2 章 末梢神経と薬 3 章 痛みと薬</p> <p>⑥ 4 章 炎症と炎症治療薬</p> <p>⑦ 5 章 感染と薬</p> <p>⑧ まとめ</p>
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編： 新 歯科衛生士教本第2版 薬理学、医歯薬出版
参考書等	疾病の診断と回復の促進 「薬理学」医歯薬出版、今日の治療薬2017 南江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

科目名	有病者歯科学
担当教員	丸野 友大
実務年数	7年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義
授業科目概要	全身的な疾患を有する患者の医療の場や予後において、歯科治療に際し必要な知識に学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 代謝・内分泌疾患 ② 消化器疾患 ③ 循環器疾患 ④ 血液疾患 ⑤ 呼吸器疾患 ⑥ 腎・泌尿器疾患 ⑦ 免疫疾患・膠原病 ⑧ 感染症 ⑨ 神経疾患 ⑩ 精神疾患 ⑪ がん ⑫ 産科・婦人科疾患・妊婦 ⑬ 偶発症・救急医療
成績評価	単位試験
教科書	橋本健二・増本一真 編著：歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（医歯薬出版）
参考書等	西田百代監修、椛山加網 著：知らないではすまされない、有病者高齢者歯科治療のガイドライン上・下
履修上の注意	

科目名	予防的歯石除去法 I
担当教員	定延 渚
実務年数	12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の基本知識と基本技術を学ぶ。予防的歯石除去法に使用する器具、器材を把握し、使用方法を理解する。歯周組織の健康像と病的変化を把握する。その手技としての各種検査法、スケーリング・PMTCの技術を身に着ける。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 予防的歯石除去法の概論 口腔の基礎知識 I ② 口腔の基礎知識 II ③ スケーリングの基礎知識 ④ シックルタイプスケーラー 模型実習 ⑤ シックルタイプスケーラー 模型実習 ⑥ シックルタイプスケーラー 評価 ⑦ シックルタイプスケーラー 評価 ⑧ シックルタイプスケーラー シャープニング ⑨ シックルタイプスケーラー 相互実習 ⑩ 歯面研磨の基礎知識 模型実習 ⑪ 歯周組織検査の基礎知識 模型実習 ⑫ 歯面研磨 相互実習 ⑬ 歯面研磨 相互実習 ⑭ 歯周組織検査・シックルタイプスケーラー・歯面研磨 相互実習 ⑮ 歯周組織検査・シックルタイプスケーラー・歯面研磨 相互実習
成績評価	単位試験・実技試験・レポート・授業態度・出席状況等を総合して評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版株式会社
参考書等	<p>最新歯科衛生士教本「歯周病学」</p> <p>最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」</p>
履修上の注意	実習では身だしなみを整え授業に臨むこと。レポートなどの提出期日は守ること。忘れ物、遅刻などをしないよう管理に努めること。補填実習などはありません。

2019年度

科目名	予防的歯石除去法 II
担当教員	佐藤 里映子
実務年数	13年（歯科衛生士）
単位（時間数）	3単位（90時間）
履修対象・形態	2年生通年 講義・実習
授業科目概要	口腔内の観察・検査ができる。口腔内診査により、スケーリング・ルートプレーニングを手用・機械と使い分ける事ができる。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯周組織検査講義 講義・演習 ② 相互実習（歯周検査） ③ 複合相互実習（シクルスケーラー・歯面研磨） ④ エアースケーラー・ソニックスケーラー原理講義・演習 ⑤ エアースケーラー・ソニックスケーラー模型実習 ⑥ エアースケーラー・ソニックスケーラー相互実習 ⑦ キュレットスケーラー原理講義・演習 ⑧ キュレットスケーラー模型実習 ⑨ キュレットスケーラー相互実習（実技試験） ⑩ 企業実習 ⑪ メインテナンス・総括授業 ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験・実技評価・レポート・授業態度
教科書	最新歯科衛生士科教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士科教本 「歯周療法学」 医歯薬出版
履修上の注意	補填実習はありません。すべての実習に出席する事。準備が整っていない場合は実習に出席できません。

科目名	予防的歯石除去法 III
担当教員	佐藤 里映子
実務年数	13年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	3年生 通年 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の観点から情報収集をし、計画を立て実行できることを目指し、相互実習の中で、記録の取り方や手技を磨く。今まで学んだ事を復習し、総括授業を行い、総合的な理解を目標とする。
授業計画	① 相互実習（診査・記録・スケーリング・歯面研磨） ② 演習（練習問題）① ③ 演習（練習問題）② ④ 総括講義 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験・実技評価・レポート・授業態度
教科書	最新歯科衛生士科教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士科教本 「歯周療法学」 医歯薬出版
履修上の注意	補填実習はありません。すべての実習に出席する事。準備が整っていない場合は実習に出席できません。

科目名	臨床検査法
担当教員	兵頭 弘美
実務年数	25年（臨床検査技師）
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義・演習
授業科目概要	<p>歯科診療は単に一口腔単位の診療ではなく、全身管理あるいは全身への影響という観点に留意しながら診療する必要がある。そのために補助となるのが臨床検査であり、医療事故を未然に防ぎ、安全な診療を行う為にも臨床検査は重要な分野である。本講義では臨床検査の種類、目的、検査法の実際、検査結果をどのように解釈するかなどをスライドやプリントも加えて解説し、最後には実習を通じて基礎的な検査主義を学習する。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 臨床検査とは（生理検査、検体検査） ② 結果の表し方、バイタルサイン ③ 生理機能検査 心電図、脳波、呼吸機能 ④ 生理機能検査 心電図、脳波、呼吸機能 ⑤ 採決法 血液学的検査法 ⑥ 生化学検査 肝機能 腎機能 ⑦ 免疫学的検査 ⑧ 血液型検査 ⑨ 尿検査 試験紙法 採尿法 ⑩ 微生物検査 塗末 培養 ⑪ 実習 血液型（オモテ試験、ウラ試験） ⑫ 実習 ヘマトクリット、出血時間 ⑬ 実習結果について ⑭ 疾病と検査
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 臨床検査、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2019年

科目名	臨地・臨床実習 I
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	1 単位（45時間）
履修対象・形態	1年生 2019年11月11日～11月15日 2019年6月3日～7日
実習概要	歯科衛生士業務と歯科診療の流れを理解し、将来目指す歯科衛生士職の動機づけを目的とする。また、集団指導を2年生と合同実習により体験する。
実習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療所 ・ 病院 歯科口腔外科 ・ 小学校
成績評価	臨地・臨床実習終了後 実習課題を提出 評価する
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします

科目名	臨地・臨床実習Ⅱ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	7単位（315時間）
履修対象・形態	2年生・2019年11月18日～2020年2月14日
実習概要	2年次の臨床実習は、学内で習得した基礎的な知識や技術を理論的に整理し、歯科医療現場ならびに福祉施設において理解を深める。また、歯科診療補助、歯科保健指導、歯科予防処置の理解を体系的に深める。さらに、総合病院（病棟）では歯科衛生士が実施する口腔ケアの見学実習を体験し、全身管理の知識と技術を学ぶ。
実習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科 ・ 高齢者福祉施設 ・ 障害者歯科
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします

2019年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅲ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	12単位（540時間）
履修対象・形態	3年生・2019年6月10日～7月12日、9月2日～10月4日、10月7日～11月8日
実習概要	3年生の臨床実習は、2年生の臨床実習で習得した知識や技術をより向上させることを目的にする。また、保健センターでの臨地実習では1.6歳児、3歳児の健診をとおして地域歯科保健の現場を体験し知識と技術を習得する。
実習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科 ・ 保健センター
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とします

科目名	齶蝕予防処置法
担当教員	鈴木亜紀
実務年数	12年（歯科衛生士）
単位（時間数）	2単位 60時間
履修対象・形態	1年生 後期 講義・実習
授業科目概要	齶蝕の基礎知識（発生・経過）の講義を行い、齶蝕を予防するための、手段・処置を実験・実習を通して知識、技能共に理解していくことを目的とする。大項目として、「齶蝕活動試験」「フッ化物応用」「小窩裂溝填塞法」を主軸におく。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① 齶蝕予防処置総説 ② 齶蝕活動試験講義・実験 ③ 齶蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法 ④ 齶蝕予防処置アウトライン ⑤ 齶蝕検出（レーザー実験） ⑥ 唾液消化作用実験 ⑦ フッ化物溶液（作成・味確認・量）実験 ⑧ フッ化物歯面塗布相互実習 ⑨ フッ化物イオン導入実習 ⑩ フッ化物フォーム相互実習 ⑪ フッ化ジアンミン銀作用実験 ⑫ フッ化ジアンミン銀塗布 相互実習 ⑬ 小窩裂溝填塞相互実習 ⑭ 齶蝕予防処置法の臨床 ⑮ 総括
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「保健生態学」医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」
履修上の注意	補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

科目名	リハビリテーション学
担当教員	栗田 剛寧
実務年数	13年（理学療法士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義・実習
授業科目概要	リハビリテーションの立場から医療、介護、保健の各領域で多職種が協力する状況が今後ますます増加してくる。歯科衛生の領域での実際的なかかわりとしては歯科受診の車いす対応、各種の杖への対応、視覚障害、嚥下障害などについての基本的な知識と介助技術が必要となる。広義のバリアフリーの視点から障害についての理解を深め、自分自身の作業姿勢や予防的な運動習慣について点検する機会をもち、職業人としての教養に当該科目の知識と実習内容を反映させる。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① リハビリテーション学概論、歯科衛生学との接点 ② 歩行障害、嚥下障害での歯科受診に伴う問題と解決策を考える ③ 装飾義手の大学生の症例から考える ④ 個人の希望に合わせた義足適合の症例から考える ⑤ 嚥下と姿勢・腰痛予防と姿勢の運動的基礎 ⑥ 車いす介助実習 ⑦ 片麻痺での起き上がり・車いすからベッドへの介助の実習 ⑧ まとめ
成績評価	終講試験70%、レポート30%により総合評価する
教科書	特に指定しない（資料配布予定）
参考書等	講義内で適宜紹介する
履修上の注意	実習時にはふさわしい服装で参加すること

科目名	歯周基本治療学
担当教員	松本 利一
実務年数	31年（歯科医師）
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義
授業科目概要	歯周治療は大きく分けて歯周基本治療、歯周外科治療、およびリハビリテーションに分けられる。歯周基本治療は、歯周治療の流れの中の最初のステップである。本講義では歯周基本治療の内容と実際を学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯周治療とは ② 歯周組織の正常像について ③ 歯周病の分類 ④ 歯肉炎と歯周炎 ⑤ 歯周病の病因 ⑥ 原因菌 バイオフィルム ⑦ 歯周病の診査、診断 ⑧ 疫学 指数について ⑨ 歯周病の病態 ⑩ 歯周基本治療学 ⑪ 歯周外科 ⑫ インプラント ⑬ メンテナンス ⑭ 歯科衛生士の役割 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2019年度

科目名	接遇・面接技法
担当教員	大西 美代子
実務年数	30年（新日本作法 師範）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生 後期
授業科目概要	社会人として良好なコミュニケーションが取れ、印象よく人前で話すことができること、また、就職活動中、面接で印象よく動き、話せることを目標とする。そのために必要な姿勢・態度・敬語を中心とした話し方の基本や重要性を知り、表現できるよう、練習・実践していく。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① マナーとは その必要性 基本姿勢と挨拶 ② コミュニケーション能力について 他己紹介 ③ 好感の持てる話し方 敬語の必要性 ④ 敬語の基本 人前で話す自己紹介 ⑤ 敬語の使い分け 話し方練習 ⑥ 面接の流れと留意点 ロールプレイング ⑦ 面接実践練習（試験形式） ⑧ 敬語の応用 ケーススタディ ⑨ 単位試験
成績評価	授業の取り組み姿勢やロールプレイングと筆記試験
教科書	オリジナル資料
参考書等	必要に応じて配付
履修上の注意	基本的に座学 毎時間、各々が考えて解答し、ロールプレイングを通して人前で話せるよう実践練習を行う

科目名	摂食嚥下療法
担当教員	河合 由紗佳
実務年数	4年（歯科医師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	口腔には食べる機能をはじめ味覚、呼吸、構音など、多くの機能があり、傷病や障害、あるいは加齢による口腔機能の低下を予防するうえで、口腔機能の療法は重要となっている。歯科衛生士もチーム医療の一員として目的と情報を共有し、歯科衛生士の専門性を高める必要がある。本講義では摂食嚥下療法の関する基礎知識について学ぶ。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 摂食嚥下のメカニズム ② 摂食嚥下障害とは ③ 嚥下の検査について（スクリーニング検査、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査） ④ 口腔ケアについて ⑤ 摂食嚥下リハビリテーションについて（間接訓練、直接訓練、食事支援） ⑥ 誤嚥時の対応について ⑦ 代替栄養について ⑧ チームアプローチについて
成績評価	単位試験
教科書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科第2版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	総合演習
担当教員	佐藤 里映子
実務年数	13年（歯科衛生士）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 後期 講義・演習
授業科目概要	国家試験に向けての全科目対応した講義・演習を実施する。
授業計画	① 人体と構造と機能 ② 歯・口腔の構造と機能 ③ 疾病の成り立ちと回復の促進 ④ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み ⑤ 臨床歯科医学 ⑥ 歯科予防処置論 ⑦ 歯科保健指導論 ⑧ 歯科診療補助論
成績評価	単位試験
教科書	資料配布
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とする

科目名	東洋医療
担当教員	西口 陽通
実務年数	36年（はり師、きゅう師）
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習
授業科目概要	東洋療法について基礎理論と演習を通じて認識を深める。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 東洋医学の病の見方“気”というものについて ② 昔話にみる日本の医療と黄帝内経素問より ③ 東洋療法の臓腑観（五行理論含む） ④ 手技療法について種類と作用など ⑤ あん摩の施術 手順例 注意等 ⑥ 実技体験 1 ⑦ 実技体験 2 及び 復習（まとめ）
成績評価	提出物 及び 試験
教科書	プリント配布
参考書等	
履修上の注意	